

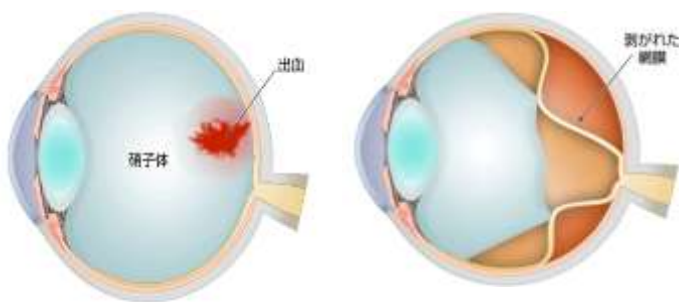
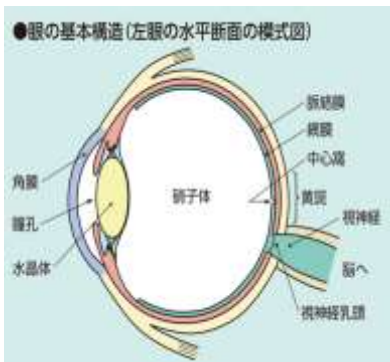


色とりどり紫陽花が、綺麗に色づき始める季節になりました。みなさんいかがお過ごしでしょうか？
今月は、糖尿病の三大合併症の一つと言われている「糖尿病網膜症」について網膜症の原因、症状、治療について詳しくお話したいと思います。

糖尿病網膜症とは？

網膜は、眼底にある薄い神経の膜で、物を見るために重要な役割をしています。カメラのフィルムのような役割をしています。

この網膜症は、その機能を保つために非情に細かい血管が張り巡らされていて、十分な酸素や養分が行き渡るようになっています。高血糖が続くと網膜の血管が傷つき出血したり血管が詰まったりします。そして、網膜は酸素や養分不足となり、ひどくなると眼底出血や網膜剥離を起こし更には失明をすることもあります。



眼底出血

網膜剥離

どんな症状があるの？

成人の失明原因の第一位は「**糖尿病網膜症**」であり、糖尿病を放置していると、なんらかの網膜異常を引き起こすことがあります。網膜症は、3段階を経て進行して行きます。

- ①単純網膜症
 - ②前増殖網膜症
- } 自覚症状はほとんどありません。

③増殖網膜症→「見にくい」「黒いものが見える」などの自覚症状が現れます。

網膜症は段階的に進行していくので、早期に治療を行えば、進行を抑えることが可能です。

どんな検査をするの？

- ① 視力測定
- ② 眼圧測定
- ③ 眼底検査（網膜症の観察を行い、網膜症の診断を行います。）



どんな治療をするの？

- ① **血糖コントロール**
- ② **レーザー治療**—新生血管の発生を防ぎ進行防御
- ③ **硝子体手術**—進行した硝子体出血や網膜はく離治療

網膜症の予防は？

- ① 血糖コントロールをきちんと行いましょう。
- ② 糖尿病と診断されたら必ず眼科で検査を受けましょう。
- ③ 検査結果は糖尿病眼手帳に記載してもらい自己管理しましょう。
- ④ 糖尿病の患者さんは、高血圧になりやすく高血圧は網膜症の発症リスクをさらに高めます。血圧コントロールもきちんと行いましょう

糖尿病患者さんは、定期的な眼科受診を受けましょう。

